



Case08
さかえドライ株式会社

事業計画名

お客様に安心安全な ドライクリーニングを提供する

ドライクリーニングの主流である石油系クリーニングは、溶剤の乾燥が不十分であると、灯油のようなにおいだけでなく、アレルギーや皮膚炎を引き起こす可能性がある。また、作業中のおいや爆発の危険性など、従業員にも良い職場環境とはいえない。そこで安全なフッ素系ドライクリーニング機を導入した。

取り組みの経緯



クリーニング業界は、平成4年をピークに需要が減少。弊社では大型コインランドリー併設店舗や宅配クリーニングなどを展開し、収益の回復に努めてきた。一方、価格競争だけでは経営に限界がある。そこで、安心、安全なクリーニングを実施し、サービスの質を高めることで差別化を図り、シェア拡大を目指すことにした。フッ素系溶剤は、無臭で引火の心配がなく、従業員の安全にもつながると考えた。

実施内容

洗浄力が高く、速乾性にも優れた次世代フッ素系溶剤「1233Z」を、一般クリーニング店として全国初導入。タッチパネル制御の大型ドライクリーニング機「JVS SV-1700i」で衣類をスピーディーに洗浄する。フッ素系クリーニングの最大の特長は、使用後の溶剤を蒸留して汚れを分離し、新液として再生できること。フィルターで汚れを取り除くため、溶剤が徐々に汚れていく石油系に比べて、「洗い」「すすぎ」ともクリーンな溶剤を使用できる。



成果

クリーニング後の衣類に溶剤が残留するリスクがゼロになり、洗浄力もアップするため、お客様が安心して着用できる。短時間で洗い上げ、低い温度で乾燥できるのも大きな特長だ。縮みやしわを極力防げるため、衣類を傷めにくく、即日・時間仕上げにも対応しやすい。このように、サービスを向上することで、高い顧客満足度を得られた。また、フッ素系クリーニングの魅力をアピールすることで、他社との差別化を図り、さらなるシェア拡大につなげることができる。一方、工場は、石油系のおいや爆発の危険性がなくなり、働く人にやさしい環境が整った。長期的なランニングコストが抑えられ、サービスへの還元や会社の収益強化も見込んでいる。

代表者メッセージ



代表取締役社長
 長渡 邦弘

大切な衣服を、キレイにして、確実にお返しする安心、安全な健康クリーニングを目指して

創業から56年のホームクリーニング会社。高松、坂出、丸亀地区を中心に、県下で直営31店、代理店35店を展開しています。クリーニング業の基本は、お預かりしたものを、キレイにしてお返しして、喜んでいただくこと。お客様の思いのこもった大事なものをお預かりするわけですから、品質や納期などを確実に守り、信頼していただくことが大切だと考えます。その上で、安心、安全なクリーニングを実現するために取り入れたのがフッ素系溶剤です。独特のつーんとした臭いのないクリーニングを、ぜひ一度お試しください。

企業情報

所在地	香川県高松市太田下町2245
TEL	087-865-6272
設立	1963年6月
代表者	長渡 邦弘
業種	洗濯業
従業員数	185名
事業内容	一般ホームクリーニング事業(和服・毛皮・皮革・ジュタン等のクリーニングも含む)、関連商品の販売事業



**大切な洋服をあきらめていませんか？
 シミ抜きの専用ルームを完備
 熟練の技術者が一つ一つ処置する**

工場の2階に、シミ抜き専用ルームがあります。熟練の技術者が、一つ一つのシミに向き合い、種類や状態、素材の特性などを分析して、処置を施しています。一般的なクリーニングでは落ちきれない、汚れやシミもお任せを。今まで取れなかったシミ、あきらめていた変色や脱色なども、ぜひ相談してみてください。